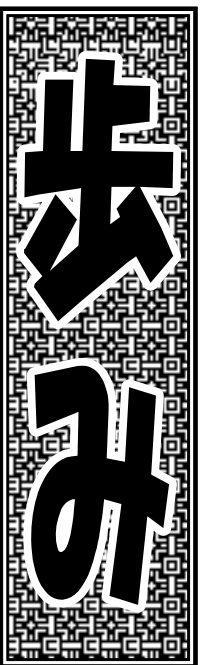




全港湾第94回定期全国大会

2023. 9. 30
NO. 671 号全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-2706-6574-8424
078-303-0800

9月14・15日の2日間にわたり、全港湾第94回定期全国大会がシーパレス日港福（愛知県豊橋市）で開催されました。

中央本部は大会開催について、新型コロナウイルスが5類に格下げされましたが再度感染拡大が懸念される状況や会場諸事情を考慮し、今回傍聴参加は見送り、参加人数を最小限に調整を進めた結果、総勢171名の参加となりました。

議長団には城光氏（日本海）、丸山氏（関東）を選出し、議事進行が行われました。

適正な運賃料金を 収受を図る



畠山副委員長

開会挨拶に立った畠山副委員長は「厚生労働省がまとめた2023年労働経済

白書では全労働者の賃金を1%上げると2・2兆円の経済効果があると試算し、新たな雇用が16万人増える。一方で物価変動を考慮した実質賃金について、白書は賃金の伸び悩みの原因として企業の内部留保の不活用と労働組合の交渉能力低下を挙げている。

また財務省によると2022年の資本金10億円以上の大企業の内部留保は55兆1兆4千億円に達し、前年度比27兆1千億円増加し、過去最高を更新している。これは大企業には、23春闘の原資は潤沢にあったということをあらわしており、適正な運賃料金が収受できれば港湾運輸産業の物価高騰に対する賃上げは可能であったということである。

港湾産業で働く我われにとつては到底納得できるものでない」としました。

また港湾産業について、「依然荷主が優位に立つ物流業界で、どのように賃上げ原資に対し適正な運賃料金収受を図るか、この1点にしぼることが重要である」と提起しました。



鈴木委員長

次に中央本部を代表して挨拶に立った鈴木執行委員

長は、石垣島を含めた先島諸島周辺に自衛隊基地が配備され、北朝鮮のミサイル発射実験時には沖縄地本の組合員が安全上自宅待機を余儀なくされたことや、9月7日、8日と米軍の掃海艇「パイオニア」が石垣港に休息補給のため入港接岸したことに対し、沖縄港湾や沖縄地本が「民間港の軍事利用を認めない」と抗議活動を展開し、その対応のために沖縄地本出身の諸見執行委員が今大会に参加できないことを報告すると共に闘争の中、参加している沖縄の代議員に敬意を表しました。

我々の要求実現が 国民を豊かにする

また鈴木委員長は「国土交通省の資料によると全国の指定港93港の港湾労働者は5万1千人と言われている。基幹産業で働く我われ

港湾労働者も一国民であり、我われの要求実現がすべての国民の豊かさに繋がっていくと確信している」と述べ、「今こそ全港湾の団結を世界に知らしめるため、実りある大会にしよう」と呼びかけました。

ユーザー・船社・荷主に 対し、労使が毅然とした態度を



全国港湾玉田書記長

来賓挨拶に立った全国港湾の玉田書記長は、長期化した23春闘の経過を説明し、さらに「多くの中小港運事業者で形成する港運事業は生業の在り方も含め、持続的な発展を期する港湾に絶対的影響力を持つユーザー・船社、荷主に対して、毅然と労働組合あるいは労使が対抗しないと明る未来はない」と危機感をあらわにしました。

また「届け出料金を行う際に、下払い料金も含めて原資を積み上げていくことができていくか着目しているのが23春闘協定の中身であり、この秋から具体的に行動していく」と意気込みを述べました。

さらに「国土交通省は毎年料金の監査を行うが1つの運輸局で調査対象約15社の内、7割から8割が文書警告を受けている。元々適切な料金を出しておらず、荷主に言われるままの料金設定を疑わざるを得ない。毎年7、8割が文書警告を受けることは異常である。今後は注視し、追及していくことが荷主に対して最大の鍵となる」と述べました。（2面へ続く）



「〇歳の壁」という言葉を聞く。保育所探しに苦労する「3歳の壁」、社会人3年目は「25歳の壁」、人生の岐路に立つ「40歳の壁」……。一生にはいくつの壁が立ちかはだかるのかとある雑誌では、将棋の羽生九段が「50歳の壁」について語っている。

2017年に47歳で永世七冠となるも、50代の年間成績で初めて負け越し。昨年は名人戦A級からの陥落も経験した。しかし羽生さんは言う。「壁はあると思うからあるだけで、本当はどこにもない」◆その思いは意外にも、人工知能（AI）の普及でより強まったそう。AIは人間界の事情にお構いなく、最善手を導き出す。だからこそ羽生さんは「人間同士が戦う将棋の存在意義」を追究するようになったという◆そんな勝負の面白さを知らしめたのは、32歳下の藤井聡太王将に羽生さんが挑んだ今年初めの王将戦だろう。AIの評価値には表れない歴史や物語に、私たちは胸を躍らせるのだ◆「盤上での後悔は山ほどある」という羽生さん。だが、後悔できるのも人間の特権だ。見える壁にぶつかり、悩んで、つまずいて。悔いのある人生もいいじゃないか。

(1面からの続き)

全港湾の取り組みを評価

玉田書記長は「アクションプラン」での「お手伝い特例」に対する全港湾の取り組みにふれ、「①行政の政策の問題点を訴え、事業の継続と雇用を一体にして対案を示し、政策方向を求め続ける②行政を監視する機能(国会)に問題提起し、検証の場をつくる③交

運労協など交通運輸全般に関わる政策の共通点を見出す④職場での学習、声を周知し、パブリックコメントで行政に突きつける」

日興サービズ分会 新たな問題

全国闘争の報告で日興サービズ分会の上條分会長は、第5回中央港湾団交で指定事業体から日検本体へ移籍することを基本合意し、さらに23春闘の仮協定書に「是正する」という一歩踏み込んだ文言が入ったことを評価しました。

しかし「日検が行っている募集要項は、本体移籍ではなく、地域職員制度における採用試験と称し、ふるいにかけるという卑劣な行為をしている」と批判しま

した。

また「四検(全日検・海事検定・日検・シンケン)の中で指定事業体を頑なに維持し続けているのは日検だけだ」と非難しました。

さらに「指定事業体の労働者は65歳で雇い止めされるのに対し、日検労働者は65歳以降指定事業体に再雇用されていることに新たな差別問題が発生している」と告発すると共に今後の争議の支援を訴えました。

中央本部提案にある第1議題 2022年度の主なたたかいの経過と総括(案)、2022年度及び2023年度運動方針補強(案)について、代議員か

ら23春闘、トラック・海コン問題、書記次長人事、石炭問題、フクシマ連帯キャラバン、平和と民主主義など29名から発言があり、運動方針を補強しました。

第2議題 2022年度決算及び2023年度予算(案)、第3議題 2023年秋年末闘争方針(案)、第4議題 規約の改正(案)、第5議題 組合員に対する処罰について(案)、第6議題 年間ス



関西地方の参加者で集合写真

阪神支部代議員

大会 発言

トラック関係について

「物流革新に向けた政策パッケージのポイント」の中に物流産業における多重下請け構造の是正という項目があるが、元請け事業者が実運送事業者を把握できないよう台帳作成等に係る規制措置等の導入とあるが説明していただきたい。

国交省や地域トラック協会も標準的な運賃を求めるようになっていくが、多重構造の産業にどれだけ標準的な運賃が浸透するのか、また実用性があるものにするために取り組みが必要ではないか。さらに、すべての事業者が均等に恩恵を受けられるような取り組みが必要ではないだろうか。

ドリーム燃料の開発が進められているが、これについて何か情報はあるか。トラックドライバーの人員不足が懸念されているが、今年の5月に名阪国道で若いドライバーの死亡事故があった。せっかく入社した若いドライバーが事故を起こさないためにも教育機関を設け、ドライバーを育成するための政府の助成等があるのならば要請していきたい。

組合の組織率について

厚生労働省が公表した2022年労働組合基礎調査によると、労働組合数が約2万3千(前年比1・5%減)、労働組合員数999万2千人(前年比0・8%減)となっていることが発表されている。このように組織人口が減少しており、また、コロナ禍により活動も厳しくなっているが、組織拡大の運動に精力的に取り組んでいただきたい。

副委員長 松本 栄二



中央労職対について

今年の4月に中央労職対が開催され、主に各地方のコロナ対策とマスク着用問題が議論され、取り組みの共有と交流が図られ、意義のあるものとなった。

コロナ取り扱いについて

コロナは今年で5類となり、濃厚接触者の定義がなくなることにより、関西でも特休の取り扱いと秋年末の要求が議論されている。各地方の取り組みや考え方と中央の指針があれば

教えていただきたい。

特定外来生物について

先日神戸の六甲アイランドで特定外来生物で毒性を持つ「コカミアリ」が発見された。「ヒアリ」「アカカミアリ」等、一度定着すると根絶が難しいようだが、中央と地方で情報を共有しながら組合員への周知と対応を議論するべきではないか。

書記次長 入江 友規



予算と人員について

2023年度の予算案では専従役員はこれまでと同様に3名となっているが、書記次長を置かないのであれば2名になる。予算組みについては実態に合わせ、その上で必要な支出があるのならば詳しく説明をしていただきたい。

書記次長 廣渡 信次



中央人事体制について

5月に行われた中央トラック・海コン・バス・タク

シー対策会議で取り組んだ行政に対する要請行動で要請文書を提出していなかった不備があったそうだが、この状況を産んだのは中央常任の脆弱性、人手が足りないがための不備ではないか。今の委員長、書記長、また書記局でハードワークをなんとかこなしているが、中央本部役員がハードワークに追われている状態では運動の前進が危ぶまれるのではないかと懸念している。来年の大会に向けて、全港湾の中央本部常任の4役体制をしっかりと構築していきたい。

書記長 久保田 稔



第5議題の組合員に対する処罰について

デリケートな問題だが、随時報告を受けているので粛々と規約に基づいて進めていきたい。

副委員長 南 修三



上組分会 太田垣 光一

専門部リレートーク

#8 三四労・九条の会

三四労・九条の会は一括りになっており、30・40代の執行役員・組合員に学習を通してスキルアップすることを目的としています。

三四労とは

そもそも目的は青年部（以前はここが20代の組合員育成のために設置されましたが、現在は部員確保のため30代まで引き上げられています）で学習を行ってきた組合員の次のステップのためにあるのが三四労部会です。ここでは労働基準法や労組法、労働諸条件について実際にあった事例などを話し合ったり、問題形式で各自が答えを考え、その回答に対してなぜそう思ったかなど、より深く学習する事を目的としています。

九条の会とは

労基法等の問題は執行部でも難しいと思えるものをあえて出し、積極的に意見交換することでお互いの理解度を深めています。

憲法第9条は「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。2、前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」とあります。



2020年 部内講師を立てて反戦学習会

これまでも過去から現在の映像や体験談などを通して戦争の悲惨さを学び、戦争は二度と起こしてはいけないという当然の認識を深め続けています。

このように二つの柱をもつて学習することで執行部や次世代の育成に取り組んでいるのが三四労・九条の会です。

これは平和主義の理想であり、他国からも称賛される条文です。九条の会はこの条項に則り、反戦平和のための学習を行う場です。

これからも全体に波及させるべく活動を行っていきます。

事務局長 道下 拓也

カマヤん 生成AI ありむら潜



専門部リレートーク

#8 海貨事務職部会



2019年 現業部会との合同学習会

海貨事務職部会は時間外などの労働環境はもちろんのこと、昨今問題視されているメンタルヘルスなど事務職特有の事務所等の職場内における悩みや問題を解決するべく活動を行う部会です。

2019年には現業部会と合同での学習会に取り組みました。これは事務職の皆さんのご協力と積極参加をお願いいたします。これからも各職場等の問題の吸い上げや対策の一助となるような活動を行っていきます。

部会長 道下 拓也

分かるかな？

懸賞クイズ



【問題】

口の中に8を入れると別の数字になりました。いくつになったでしょう？

670号の回答 「2番目」

少し難しかったでしょうか。残念ながら応募者はいませんでした。

671号の締め切り日は、10月13日（金）です。ふるってご応募ください。